

平成25年度当初予算重点事業 (教育委員会関係)

1. 安心・安全な教育環境づくり
2. 中学校の学力充実対策
3. 府立高校の魅力づくり

1. 安心・安全な教育環境づくり

① いじめや暴力を学校から無くすための対策

291,097千円

緊急対策

○ いじめの芽を摘む緊急対策 新

- ・ 『いじめ対策専門指導員』を派遣し、未解消いじめの早期解消やいじめのきめ細かな把握などについて学校を指導
- ・ いじめの発生や未解消案件の多い学校に、学校体制を支援するための教員を配置

H24 全国調査結果(いじめ認知件数)
京都府8,748件(うち未解消 23.5%)

未然防止

○ PTAと連携したいじめ・非行防止 キャンペーン 新

○ いのちとこころのコミュニケーション事業 新 道徳教育の外部講師を学校に派遣

学校体制の強化

- いじめ対策検討のための有識者会議(第三者委員会)の設置 新
- 教職員の対応力向上、意識改革
いじめや非行対策、指導のあり方講座の充実

早期発見、相談体制の充実

○ スクールカウンセラーの配置 拡充

小学校 配置拡大(13→17校)

中学校 全校配置

高校 全校配置(配置時間拡大)

○ まなび・生活アドバイザーの配置

○ 心の居場所サポーターの配置

○ 学校非公式サイト監視業務

早期解決

- いじめ危機管理チームの派遣 新
深刻な事象が発生した学校の体制再構築

警察との連携強化【スクールサポーターによる学校支援】

7,770千円

② 通学路の安心・安全

- 通学路安全対策アドバイザーの派遣 新
警察官OB等専門家による、通学路の安全対策の提案や交通安全教室への支援
- 地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業
スクールガード・リーダーの配置、地域一体となった子どもの見守り活動の支援

3,775,259千円

③ 災害からの安心・安全

- 府立学校耐震強化対策事業
22校、29棟を新規着工 耐震化率 79.6%(24年4月) ⇒ 92.4%(27年3月見込み)
- 実践的な防災教育の推進
児童生徒、学校の災害対応力を高める実践的な防災訓練、防災教育の実施
避難所生活等を想定した体験型教育プログラム「防災キャンプ」の実施



2. 中学校の学力充実対策

202, 528千円

目標

- ◇ 家庭学習30分未満の生徒を半減
- ◇ 学力の全国上位を目指す

H24 全国学習状況調査

4人に1人が30分未満

学力把握

- 学力診断テストを全学年で実施 (拡充)
中3の全国テストに加え、中1, 2を府で実施

学習習慣の確立

- まなび・生活アドバイザーの配置 (拡充)
小・中学校 30校 → 32校

基礎基本の徹底

- 中1振り返り集中学習の実施
- 中2学力アップ集中講座の実施 (新)
土曜日等を活用した集中学習

学校体制の強化

- 京都式少人数教育の実施

全中学校に35人以下学級編制が可能な教員定数を配置

学習意欲を高める

- 中学生読解力向上対策事業 (新)
小論文グランプリ、読解力向上フォーラム
- 知的好奇心をくすぐる体験授業
大学研究者等による出前授業 等

学校での学力向上の実践

- 学力向上サポートチームの配置 (新)
地域の退職教員、社会人や保護者など支援員チームを、学力向上を目指す学校へ配置
(土曜学習、補習、個別学習等を推進)
- 学力向上システム開発校の指定 (新)
学校独自の学力向上プランの実践研究

3. 府立高校の魅力づくり

～府立高校特色化推進プランの具体化～

63,431千円

○ 府立高校特色化事業 新

- ◇ 生徒・保護者の多様化するニーズに応え、学校選択の指標となる特色化
- ◇ 高校生の「夢」を叶える多彩なメニューを提供

主なメニュー

○ 大学研究室連携事業(スクールラボ)

大学の研究分野と連携した「研究室」を設置
大学の研究員等と高校生が共同研究を実施
(分子生物学、宇宙工学、ロボット工学研究等)
大学院生等による教科学習支援も実施

○ 府立高校一校一社連携事業

先端企業を、高校のサポートカンパニーに
社員による特別講座やワークショップの実施
インターンシップの受入 等

○ 数学オリンピック等チャレンジ事業

数学や物理の国際大会へのチャレンジ支援
京都大学と連携し、チャレンジ道場を開設

○ ハイスクール起業チャレンジ支援事業

職業学科が共同で、新たな産品ブランドを開発
「高校生カンパニー」を設立、企画、生産から販売
まで6次産業を実践

【府立高校生ブランド例】

丹後観光ツアー(網野、京都すばる)
京丹波マドレーヌ(須知、農芸 等)
武士米(桂、京都すばる)

○ 京都フロンティア校支援事業

各校が目指す特色化をコンペで切磋琢磨

【事業例】

地域文化や伝統文化の学習
地域に貢献する人材の育成
ユニークなスポーツや文化系クラブの新設
タブレット等ICTを活用した授業の実践

393, 159千円

○ 府立鴨沂高校の改築 新

耐震化のための改築に伴い、歴史と伝統を活かした京都らしい高校として
全面リニューアル

基本
コンセプト

- ・文化の薫り高い、豊かな教養人の育成
- ・京都らしい文化・芸術の拠点校

校舎、体育館、屋内プール等を現校地で改築
平成28年夏 完成予定

外観意匠及び特徴的な内部空間(茶室等)の継承
ICT環境、芸術系特別教室の充実 等

389, 170千円

○ 京都フレックス学園整備事業

生徒の多様な学習ニーズに柔軟に対応する新しいタイプの高校を新設

特徴

- ・単位制、昼間2部制の普通科高校
- ・修業年数(3年または4年)を入学後に選択
- ・実習や体験型授業など多彩な講座展開
- ・外部機関と連携し、就労・自立をサポート

2階建校舎棟、体育館、屋外運動場、多目的コート
京都市北区に平成27年4月開校予定

可動間仕切により分割等が可能な普通教室、多目的室
ICT環境、多様な特別教室、ダンス演習室 等

12, 000千円

○ 京の若者未来支援事業 新

府立高校全生徒を対象とした実践的
キャリア教育

- ・民間企業社員・起業家を招いたグループワーク
- ・多様な職場体験、インターンシップ 等

府立高校独自の教育メニュー

224,506千円

- 府立高校生グローバルチャレンジ500事業
海外での語学研修や留学の支援
英語指導助手の配置 等
- 高校生伝統文化事業 20,000千円
全校で茶道や華道など伝統文化の授業